

災害時の清潔・健康ケア

災害時は、避難所生活や水不足など、生活していく上で衛生上のリスクが高まるため、体を清潔に保ち、健康に留意することが重要です。
体力のないお子様やご高齢の方は特に注意が必要です。



災害時の手の清潔

多くの人が出入りする避難所などでは、いつもより手が汚れがちです。手を清潔に保ちましょう。



水で手洗いできないときの手指のケア方法

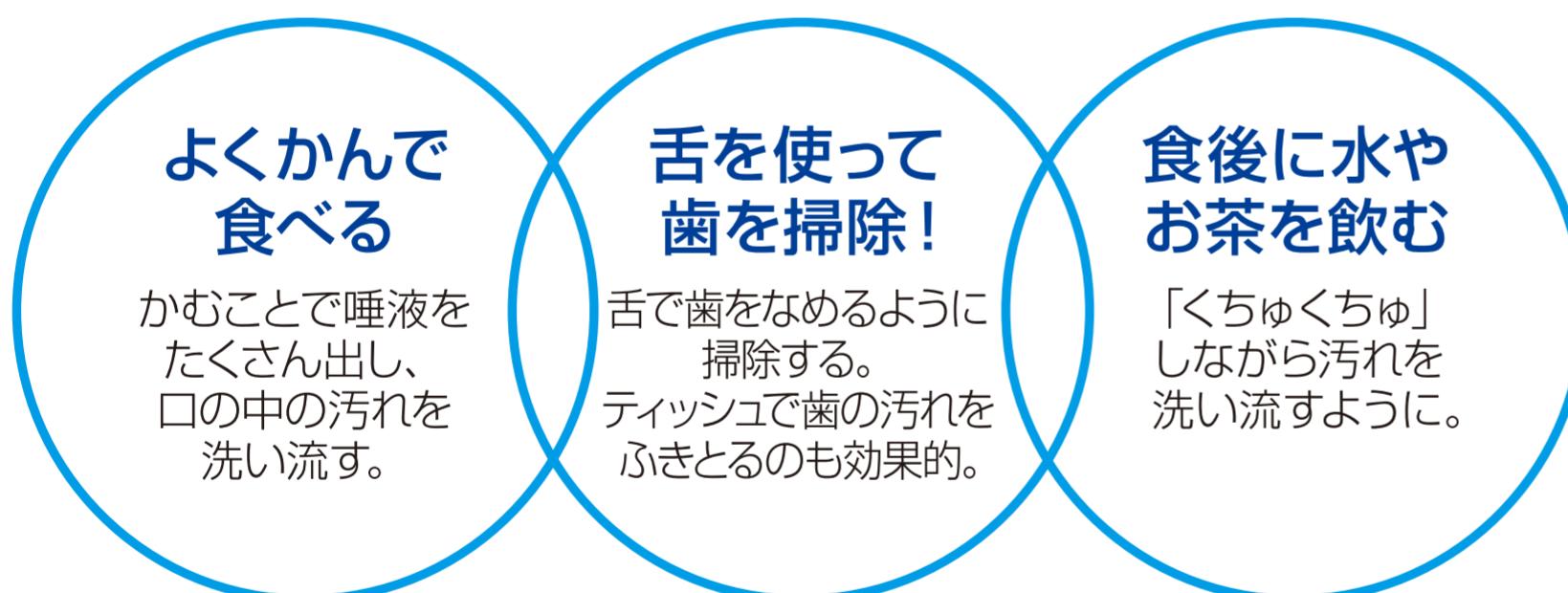
ぬれティッシュやお手ふきシートを使って、手指をキレイにふきましょう。



災害時のオーラルケア

オーラルケアが不十分だと、ムシ歯や歯周病、感染症や誤嚥性肺炎などのリスクも高まります。

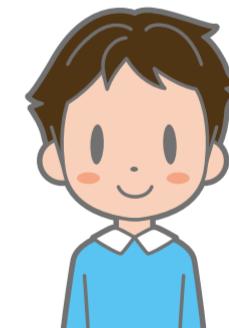
ハブラシがないとき 食べたものをお口に残さないことがポイント。



お子様が気をつけたいこと

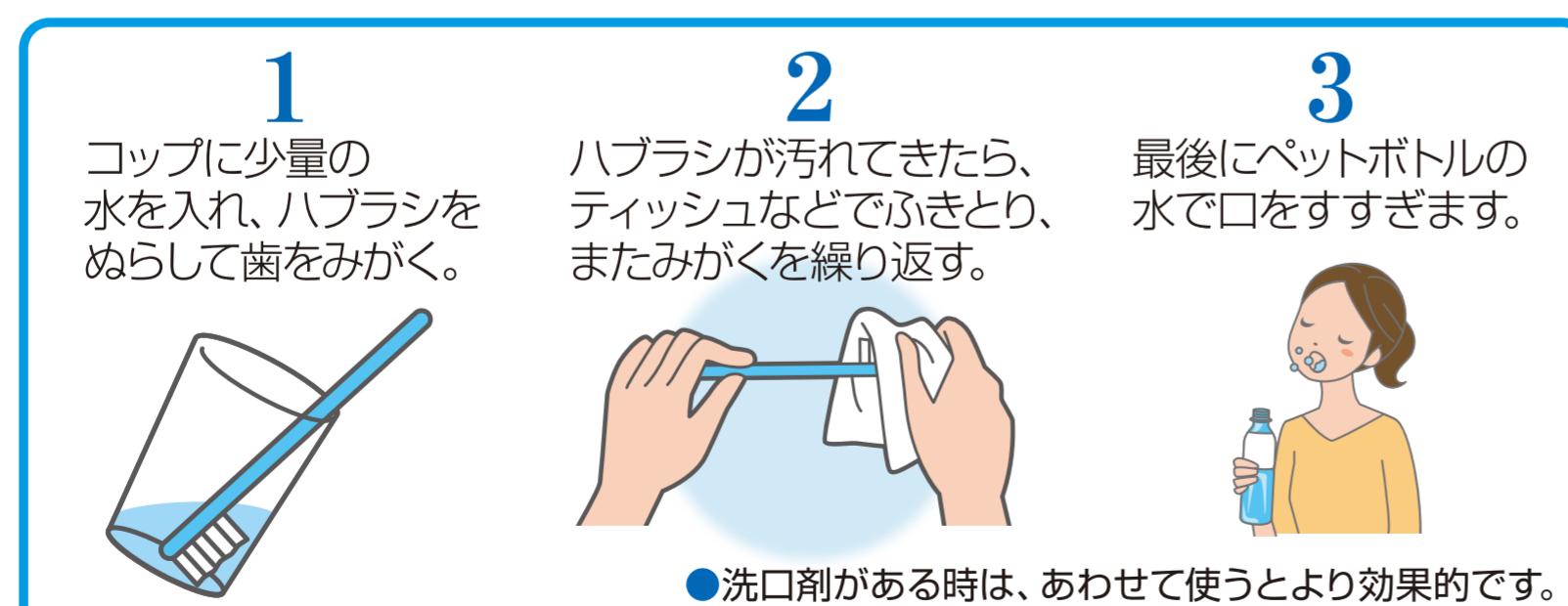
お菓子など間食をとる機会がふえがちなので、ムシ歯や歯周病のリスクが高まります。

- 口の中の細菌がふえないように、水やお茶でブクブクうがいを行いましょう。
- ダラダラ食べるのも、できるだけ控えましょう。



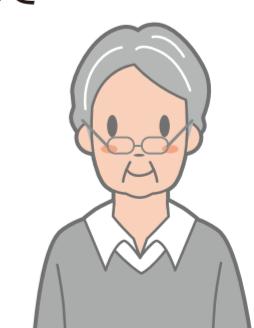
ハブラシがあるとき 水が不足していても、ハブラシで汚れを取りましょう。

入れ歯をお使いの方は



お口の中を清潔に保つためには、入れ歯をキレイにしておくことが大切です。

- 食後はできるだけ入れ歯をはずして汚れを落としましょう。
- 入れ歯をはずした後は、歯やお口の粘膜をガーゼなどでぬぐっておきましょう。



出典:水がないときの歯みがきの方法 日本口腔ケア学会・全国在宅療養支援歯科診療所連絡会のHPを参考に作成

オーラルケア情報に関する監修:東京医科歯科大学 中久木 康一先生